

## 造影剤を用いるMRI検査を受けられる方へ

当検査の際にガドリニウム造影剤を使用します。

造影剤は内臓の状態や病気の性質を詳しく知るため画像に濃淡をつける薬剤です。検査時に腕などの静脈から注射します。

安全に造影剤を使用できるかどうかは主治医および検査担当医が慎重に判断していますが、ほかの薬剤と同様に時として副作用があることをご承知ください。ごくまれに生命に関わる副作用が生じますが、造影剤を使うことは病気の診断や治療方針を立てる上で大変有用となることをご理解ください。造影剤を使用しない場合には、診断精度が低下する場合もありうる点をご承知おきください。造影剤使用に関して必要な問診事項にお答えの上、同意されましたら同意書にご署名ください。

1)軽い副作用:吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹などで、基本的に治療を要しません。このような副作用は約1%の確率で発生します。

2)重い副作用:呼吸困難・意識障害・血圧低下などです。このような副作用は、通常は治療が必要で、後遺症がのこる可能性があります。そのため、入院や手術が必要なこともあります。このような副作用が起こる確率は、0.1%以下です。

非常にまれですが、病状・体質によっては重篤な副作用により、死亡する場合があります。

なお造影剤を注入する場合には、血管外に造影剤がもれることがあります。この場合には、注射部位がはれて、痛みが伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収されます。もれた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもありますが、非常にまれです。

当院では万一の副作用に対して万全の体制を整えて、検査を行っています。もし異常を感じたら、ためらわずにすぐにおっしゃって下さい。

検査をできるだけ安全確実にを行うために問診票に答えて下さい。

問診票はご署名の上、検査時に必ずご持参下さい。

わからないことがありましたら、担当医に遠慮なくご質問下さい。

医療法人 讃高会 高井病院 放射線室 TEL072-858-7272